区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会 地域づくり部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	めざせ防災力向上！Ⅱ 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	区民一人ひとりが、防災について関心や意識を持つきっかけをつくり、防災活動への理解を深めるためにさらに充実した取り組みを行い、地域全体の防災力向上を目指す。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【北区防災かるたの作成】</p> <ul style="list-style-type: none">・事業期間 令和6年4月～令和7年2月・事業概要 <p>○絵札および読み札の公募を実施 時期 令和6年6月～9月 内容 テーマを「防災に関すること・北区の防災に関すること」とし、絵札および読み札を募集した。約350作品の応募があった。</p> <p>○絵札および読み札の選考を実施 時期 令和6年9月～10月 内容 キテミテキタ区フード&防災フェスタでの投票や北区防災士の会、地域づくり部会委員による選考を実施。</p> <p>○完成した「北区防災かるた」を配付 時期 令和7年1月～2月 内容 150セット作成し、区内小学校・中学校、コミュニティ協議会などに配付。</p> <p>○北区ふゆっこまつりに「北区防災かるた」体験ブースを出展 日時 令和7年2月9日(日) 内容 「北区防災かるた」を体験できるブースを出展するほか、参加者に備蓄用ようかんの試供品を配布し、防災について啓発を行った。</p>
事業の評価 地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の 評価など	<p>○区内の小中学校の授業などでもかるた札の作成に取り組んでもらうなど、かるた作成過程も防災意識向上に役立った。</p> <p>○完成した「北区防災かるた」には、北区で起こった過去の水害に関する札など北区固有の札が含まれるため、北区を学ぶ機会にもなる。</p> <p>○北区ふゆっこまつりでは約200人が「北区防災かるた」を体験し、当事業のPRを効果的に行うことができた。</p> <p>○繰り返し使える「かるた」は、学校や地域で防災学習のツールとして継続的に利用されることが想定される。北区区ビジョンまちづくり計画では「地域と協働し、地域防災力向上を図り、区民一人一人が自ら行動し助け合うまちを目指します。」としているが、その一助となることが期待できる。</p> <p>○かるた作成から今後の活用も含め、区民参加型、協働を十分に意識した事業であったと評価できる。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会 福祉教育部会

区分	内容
テーマ・事業名	ボランティアはじめの一步 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	区民と協働し、北区の地域課題の解決やまちの活性化に取り組む。 福祉・教育・防犯分野を所管する福祉教育部会では、「地域活動の担い手不足(見守り・子育て支援・交通安全)」をテーマに設定し、以下の事業を実施した。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【これからの人生の遊び方・過ごし方 ー得意なことから地域に出ようー】 ・開催日 令和6年11月16日(土)午後2時から3時30分 ・参加者 40名 ・講師 江口 歩さん(新潟お笑い集団NAMARA代表) ・内容 ・講演会 これからの人生をより楽しくするための「趣味・興味のつくり方・見つけ方」「江口流コミュニケーション術」を学ぶ ・ワークショップ 「趣味・興味から地域活動を作ってみよう」 参加者の趣味や興味のあること、得意なこと(特技・仕事)がどんな地域活動に生かせるかを話し合う。
事業の評価 地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など	○「地域活動の担い手不足(見守り・子育て支援・交通安全)」という課題を前年度からの調査・研究で認識したことで委員一人ひとりが多くの意見を出すことができ、活発な議論を経て、事業の実施ができた。 ○趣味・興味から地域活動を作ってみようというテーマで行ったワークショップでは参加者から「好きなことを組み合わせると様々な活動につなげられる」、「今地域活動している人にも参考になる」、「継続して実施してほしい」などの感想があり好評だった。 また、「ワークショップの時間が足りない」という感想もあったため、今後同様の事業を行う際の課題としたい。 ○参加者アンケートで講演会の満足度は8割を超えており、地域活動への参加意欲の向上を促すことができた。 ○今期の本部会として男性参加者の取り込みやワークショップの時間配分などの反省点に対応しつつ、地域活動の担い手不足という課題に継続的に取り組むことについて次期部会の検討事項として引き継ぎたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会 自然文化部会

区分	内容
テーマ・事業名	北区 魅力発信事業 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	区民等が北区の自然・食・文化等の魅力に触れ、理解を深める。 北区の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【外来種駆除作戦！福島潟でブラックバスを釣ろう】</p> <ul style="list-style-type: none">・日時 令和6年8月31日(土)午前5時～9時・会場 福島潟 中洲・対象 どなたでも 35名(応募多数の場合抽選)・参加料 1,000円・参加者数 35名・釣果、雷魚1、小魚1・アンケート(回答数11)また参加したい8人、参加したくない3人 <p>○感想</p> <ul style="list-style-type: none">・安全に釣りをする場所を確保してほしい。事前に職員などが挑戦し、釣れるのか、釣れるポイントなどを把握していく必要があるのではないか。・ブラックバスは釣れないので雷魚地引網や外来種捕獲調査、ザリガニ釣り大会、ハスや菱の試食会などの企画にしてみたいと思う。 <p>【トークセッション「潟料理の魅力語る」】</p> <ul style="list-style-type: none">・日時 令和6年11月23日(土) 正午～午後1時・会場 水の駅 ビュー福島潟6階 展望ホール・参加者数 25人 <p>・トークセッション 出演者 長谷川哲夫さん(福島潟新井郷川漁業協同組合代表理事組合長) 佐藤忠明さん(割烹松潟屋代表取締役社長) 小柳光明さん(北区産業振興課文化・スポーツ係係長)</p> <ul style="list-style-type: none">・北区魅力クイズ 北区の魅力をクイズの出題と北区ゆかりの賞品(工芸品、食物など)の進呈・アンケート結果(回答数25)大変よかった 15人、よかった 7人 <p>○感想</p> <ul style="list-style-type: none">・長谷川さんの話がためになった。佐藤さんの話も面白かった。みなさんの努力で福島潟が守られていると思いました。・潟料理が食べられるお店をもっと知りたいです。・素晴らしい企画でした。産業振興に興味があり、参加できたことに感謝します。クイズは難しかったです。・娘と一緒に楽しく参加させていただきました。この自然を大切にしていきたいです。その中で潟料理にも親しんでいきたいです。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の 評価など)	<p>○外来種駆除作戦！福島潟でブラックバスを釣ろう</p> <p>はじめての企画に、全国各地からの応募があった。釣果はなく、船の安全性や中洲に上陸できなかったことなど、課題は多くあった。しかし、福島潟に来てもらえるいい機会になることがわかったので、次回実施の際は、改善を図り取り組む。</p> <p>○トークセッション「潟料理の魅力語る」</p> <p>概ね好評だった。参加人数に限られるので、さらに北区の魅力を広めるために、ロコミやSNSなどを活用するなど、発信方法も工夫しながら取り組む必要がある。 福島潟自然文化祭では、雁迎灯が1週間点灯しているので、その期間を利用してのイベント開催も相乗効果があると考えます。</p>
備考	